

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3190200398		
法人名	社会福祉法人 敬仁会		
事業所名	グループホーム やまと		
所在地	鳥取県米子市淀江町佐陀1015-14		
自己評価作成日	令和2年9月10日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	1/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=31
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	有限会社 保健情報サービス		
所在地	鳥取県米子市米原2丁目7番7号		
訪問調査日	令和2年10月22日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

単独事業所のグループホームとしてニューやまとの住宅街に建てられ丸三年が過ぎました。東には大山をバックに佐陀川が流れ、北には日本海と自然豊かな環境の中で、散歩を日課として日々地域住民の方々との交流を図りながら生活をしています。
 2ユニットで家庭的な雰囲気の中、ご利用者とご家族との信頼関係を築きながら個々の生活を重視し出来る事を共に喜び合い、穏やかな生活が送れるよう支援しています。感染症対策の中、なかなか地域との交流が難しい現状ですが、地域資源としての役割として認知症に関する拠点となるように、地域住民や様々な機関との連携に勤めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホーム理念を基にホーム独自の目標を利用者の方と一緒に考え定め取り組まれています。
 地域との交流にも力を入れておられ、自治会に加入され、地区行事への参加、オレンジカフェの開設、散歩の時の挨拶等、開設来、地域の方との交流が続いています。近隣の方から野菜や花などを頂かれ交流の継続に繋がっています。
 全職員が介護福祉士の資格を持ち、レベルの高い技術と知識での支援が行なわれています。
 利用者の方には、出来る事をお願いし、役割を持ったメリハリのある生活が継続できるようにされており、利用者の方々も表情豊かに暮らしておられました。
 「新型コロナウイルス」対策の為、地域への外出、外食や買い物等が中断している事もあり、外食に出かけられないぶんユニット毎に食事内容を変更したり、色々な弁当を購入し選ぶ楽しみやバイキング等も行う等工夫されています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関正面、ステーション内にグループホーム理念を掲示し、周知している。 ・理念に基づいたグループホーム独自の目標をご利用者と共に決め、個人目標に繋げて取り組んでいる。 ・ユニット会議、全体会にて理念の確認を行い共有している。 	<p>正面玄関や事務所内にホーム理念が掲示され周知が図られています。ホーム理念を基にホーム独自の目標を利用者の方と一緒に考え定められています。職員はユニット会議、全体会で理念の確認、共有され実践されています。チーム会での振り返りも行なわれています。</p>	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策上地域の清掃活動には参加できていない。 ・同地区のパン屋の販売あり、ご利用者の方も楽しみにされている。 ・散歩の際には挨拶を交わし、日常的に地域の方と交流を行っている。 ・毎月広報誌を配布し、グループホームの活動を理解して頂いている。 	<p>町内地区の行事(清掃活動等)、地区の移動パン屋さんに販売で関わられています。散歩の際には地域の方と挨拶をかわされています。地区には毎月広報誌を回覧で配布されグループホームの理解につなげられています。「新型コロナウイルス」対応の為、地域への外出や買い物等、今まで通りに実施できていない状況です。</p>	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策上、計画していたオレンジカフェの実施(1回/月)ができていない。 ・広報誌にて利用者の方々の生活を紹介し、認知症の人の理解や支援方法等を情報発信している。 	/	/
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策上、7月より再開し、運営状況を報告し参加者と意見交換を行っている。 ・会議内容はホームページに載せて情報開示し、玄関内の冊子にて閲覧できるようにしている。 ・ご利用者、家族、地域の代表、地域包括、認知症家族の方の参加があり、様々な意見を頂き、サービス向上に努めている。 ・具体的な認知症ケアへのアドバイス等を頂き、ユニット会議、全体会で職員に周知し、ケア向上に繋げている。 	<p>「新型コロナウイルス」対策の為、書面で報告されていましたが、7月より会議を開催されています。行事やホームの状況、ケア内容等の報告をされ意見交換が行われています。会議内容はホームページや玄関に会議内容の冊子を設置され誰でも閲覧できるようになっています。会議内容はユニット会議や全体会で職員に周知されケア向上に繋がられています。</p>	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括センター、市役所への相談、情報交換など日頃より協力関係を築き、連携を図っている。 	<p>運営推進会議に地域包括センターの参加を頂いています。市長寿社会課、地域包括支援センターへは、必要に応じて相談、情報交換が行なわれ連携されています。</p>	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・人権研修を実施し職員の意識づけに活かされている ・玄関チャイム、防犯カメラにより、早めに対応し必要時には職員と一緒に出かけている ・事故(離脱)の予防策として、夜間、日中職員の見守りが不十分な時、一時的に玄関施錠している。 ・会議にて身体拘束や不適切なケアがないか定期的に確認している。 	法人の人権研修や接遇研修に参加され、ホーム内の全体会で伝達講習を行われ職員に周知されています。身体拘束廃止委員会も施設内で3ヶ月1回開催されて伝達講習が行われています。定期的に身体拘束やケアについて確認が行なわれています。「スピーチロック」についても言葉遣いに気を付けながら日々のケアが行われています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・人権研修実施 ・年2回「虐待の芽チェックリスト」アンケートを実施し改善に取り組んでいる。 ・日々のケアをユニット会議で振り、確認を行っている。 		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・人権研修で権利擁護、成年後見制度について学んだ。 ・対象者1名:成年後見人制度活用 		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<ul style="list-style-type: none"> ・入居契約時、契約書及び重要事項説明書に沿って十分に説明し同意を得ている。 		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議にご利用者、ご家族の代表者と意見交換を行い、ご意見があった、水害訓練を実施した。 ・玄関に「ご意見箱」を設置している ・「満足度アンケート」を通して、利用者、家族の意見を聞き反映されている。 ・家族、本人からの聞き取りや面会時、ケアプラン更新時、意見要望を聞いている。 	運営推進会議でも家族代表の方よりの意見・要望等を頂かれます。水害対策についてご意見があり水害避難訓練が実施されました。通常は家族面会時、ケアプラン更新時に意見等を管理者、職員が直接聞く機会とされています。「満足度アンケート」より利用者、家族の意見、要望を検討され支援に繋がられます。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<ul style="list-style-type: none"> ・代表者、管理者はユニット会議、全体会時職員から意見や提案を聴く機会があり、改善に取り組んでいる。 ・年1回、職員に運営や質の向上に受けてのアンケート実施し、意見やアイデアを反映させる仕組みがある。 	年1回職員に運営や質の向上について職員アンケートを実施されたり、日々の「みるみるノート」等でも募集され、職員の意見やアイデアが反映される仕組みがあります。管理者は全体会議やユニット会議で職員から意見・提案を聞かれ改善に取り組まれています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回、又希望時に上席との面談ができ、相談や意見、要望が言える場がある。 ・「身上報告書」にて、職員個々の状況を把握し状況に合わせた対応を行っている。 ・可能な限り個々の状況にあわせて働ける環境が作られている。 ・有給休暇を取得できるよう配慮されている。 		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内外の研修(コロナ感染予防の為、リモート研修)計画に沿って実施 ・施設内の研修や事例検討会を開催し、個々のスキルアップを図っている。 ・ユニット会議で、伝達研修を行い情報を共有している。 		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内他GHの施設間交流を図り、(コロナ感染予防の為実施出来ず)、随時メールで情報交換を行っている ・法人内GH部会にて、情報交換、事例検討会を行い、ケアの向上に繋げている 		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・面接時に本人の希望、本人に関する情報を伺い、安心できる関係づくりに努めている ・希望時に相談や施設見学の受け入れを行っている 		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・施設見学、相談の段階で丁寧な説明を行い、本人、ご家族の意向の確認を行っている。 ・ご家族の不安や要望を確認し、安心して頂けるように説明しケアに繋げられる努めている。 		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の状況に合わせ、家人と共に方向性を同じに考えるようにしている。 ・病院や施設、ケアマネ等からの情報や聞き取りをもとに、本人、家族が必要としている支援の見極めを行い、必要があればその他のサービス利用の提案を行っている。 		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者に家事や暮らしの知恵等を教えて頂きながら、コミュニケーションを図っている ・一緒に食事をしたり、出来る事を見極め一緒に行う事で相互に支え合う関係を築いている ・日々の暮らしの中で出来る事、興味のある事を探り、役割に繋げている。 ・利用者の意思を尊重した対応を行い、気持ちよく過ごして頂くよう努めている 		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策により面会や家族と一緒にの行事が出来ていないが、電話や毎月のおたよりで様子をお伝えしている。 ・ご家族からご意見や提案を頂き、時にはご家族の力を頼りながら、一緒に本人を支えている。 		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策前は家族、知人の面会も多く、外出の希望があれば、一緒に出かけてもらっていた。 ・希望があれば家族や知人との年賀状、手紙、電話での交流がある。 ・墓参りや自宅近くや馴染みの場所、思い出の場所へドライブへ行っている。 	馴染みの方との面会やふるさと訪問、馴染みの場所、思い出の場所等にドライブに出かける方、誕生日に家族と外出出来る方もあります。利用者や家族の要望に合わせて馴染みの人や場所等関係が途切れないよう可能な限り支援され関係継続に努められていましたが、「新型コロナウイルス」対策の為中断されています。家族との電話や毎月のお便りで様子を知らせています。面会されたい場合は家族、他の利用者とも接触が無い場所でシールド越しに面会が実施されています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが気持ちよく過ごせる様、職員が間に入り支援している。 ・テーブル席の配置に配慮し、孤立しないよう配慮している。 		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・退所されても必要であれば施設での受け入れや、他のサービス支援の相談を行っている。 ・入院中も面会や訪問を行っている。 ・退居後であっても、相談して頂ける関係づくりに努めている 		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の希望や意向を会話の中から汲み取り、ケアへ反映させている。 ・把握困難な場合であっても、日頃の言葉や行動などからご利用者の思いを把握するようにしている。 	入所時のアセスメントや家族に伺った事、利用者との会話の中から聞いた思い、意向を汲み取り、本人本位となるよう検討されています。希望や意向困難な方は入所時のアセスメントや家族より生活歴等伺われ意向や希望の把握をされています。	本人の生きがいにつながるような思い等の引き出しを今後も継続されると良いと思います。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族やご本人から聞き取り、会話の中から把握する様にしている。 ・ご家族から生活歴や暮らし方について聞き取り、情報把握、共有している。 		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の生活の中で、出来る事、出来ない事を把握し、一人ひとり出来る事を中心に個々に合った支援をしている ・リハビリの専門職の評価をうけ現状把握を行っている ・今までの生活歴やこだわり等本人、家族に聞き取り把握に努めている。 		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月モニタリングを行い、3か月ごとのプランの見直し、リハビリ評価を受けながら職員、ご利用者、家族と話し合い、現状に合った計画作成に繋げている。 	<p>担当職員中心にユニット職員によるモニタリングが毎月実施されており、系列のリハビリ職員による運動機能評価が3ヶ月に1回行われています。その結果を基に3ヶ月に1回介護計画の評価・見直しが計画作成により行なわれています。見直し内容については、利用者、家族、計画作成者、職員等で話し合わせ、利用者家族の意向や希望も盛り込まれています。計画作成者は家族にケアプランの説明を行われ署名、捺印をもらわれます。</p>	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の様子、変化、会話などを記録に残し、気づきや必要な情報を会議、申し送り等で共有している。 ・日誌、ケースへの記録、みるみるノートを使用し情報の共有を行いケア方法の見直しに活かしている。 		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・突発的な体調変化など、適切な医療機関での受診、往診を行っている。 ・居室のポータブルトイレ設置、水分摂取が難しい方にゼリーの提供等それぞれ柔軟な対応や支援を行っている。 ・今年度より、ご家族、本人希望による終末期ケアの対応を行っている 		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事参加、公民館や保育園との交流が感染対応の為出来ていない。 ・日々の暮らしを豊かにする季節感のある施設行事を行っている。 		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・他院受診時、情報提供書を作成し持参している。 ・看護師と連携し、適切な受診が受けられるようにしている。 ・毎月1回往診あり、必要に応じて相談をしている ・終末期ケアを通して、本人、家族がかかりつけ医を選ばれ連携をとっている(2名) 	<p>利用開始時に利用者、家族にかかりつけ医の確認をされ協力医に変更されたり、在宅時からのかかりつけ医を継続される方もあります。かかりつけ医については、月に1回往診して頂き、何かあれば相談が出来ます。他科受診については家族が同行されます。受診時は情報提供書を作成する等、医師とホーム看護師は連携し適切な受診が受けられるようにしておられます。緊急時の対応は利用開始時に家族の意向を伺われています。</p>	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・医療面、身体の変化等タイムリーに看護師に報告、相談し対応している ・個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように、申し送り記録等を活用し、看護職員に情報が伝えている。 		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・情報交換を行い、退院後の生活相談も合わせて確認している。 ・入院時「看護連絡表」をもとに支援方法などについて情報提供し、病院関係者と退院相談等を行っている。 ・入院訪問を行い、ご家族、連携室との情報共有し、退院後の生活相談も含め検討している 		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・入所時、重度化した場合の対応として、施設で出来る事を説明しご理解いただいている ・日々の状況をご家族に報告しながら、主治医と連携をとり、方向性を話し合っている。 	<p>利用開始時、重度化、終末期のあり方について説明され、利用者、家族にご理解頂かれています。重度化された場合には、日々の様子を伝え、主治医、ホーム、家族で連携を持ち、方針検定が行なわれます。看取り対応も進められて準備も行われています。</p>	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<ul style="list-style-type: none"> ・消防署員による救命講習を、年2回実施し急変や事故も対応できるようにしている。 ・緊急時対応マニュアル、運転事故対応マニュアル、離所対応マニュアルあり 		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<ul style="list-style-type: none"> ・火災避難訓練を消防署員立ち合いのもと年2回、昨年は他施設合同の水害訓練を実施している。 ・災害時の設備の使い方など周知されている。 	<p>年2回消防署防立会いの基、火災訓練を行われています。その他昨年は近隣にある法人他施設と合同で水害時に於ける避難訓練も実施されました。災害時の設備の使い方は職員は周知されています。備蓄は3日分用意されています。</p>	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価		
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・声掛け時の口調、表情、丁寧で分かりやすい言葉などユニット会議や「言葉使い表」を掲示し振り返りを行っている。 ・トイレ、入浴等個々に対応し、扉を閉める、身体にタオルをかける等プライバシー保護に努めている。 ・利用者の人格尊重とプライバシー保護を意識し、声かけを行っている。 ・「虐待の芽チェック」で自身のケアの振り返りの機会が年2回ある。アンケート結果によりケア改善に繋げている。 	法人の接遇研修にも参加されています。ユニット会議で声掛け時の口調や表情、丁寧で分かりやすい言葉遣い等、対応の振り返りが行なわれています。「言葉使い表」も掲示されており、誇りやプライバシーを損ねる言葉掛けになっていないか、振り返っておられます。入浴やトイレは個別対応が行われており、各々プライバシーに配慮しながら支援されています。年2回「虐待の芽チェックリスト」が実施され、職員自身のケアの振り返りを行ない、利用者満足度アンケートを基に改善へとつながられています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	<ul style="list-style-type: none"> ・選択肢を増やし、ご利用者が自己決定できる声掛け、働きかけをしている。 ・「～しましょうか」と問いかけ、希望や思いを聴ける機会を持っている(服、飲み物の選択)。 			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりのペースに合わせて希望に添い、利用者が安心できるよう支援している。 ・次の行動を起こすとき、どうしたいかニーズを確認してから行っている。 ・日課はあるが起床時間や食事時間、活動案内時は、その都度本人の意思や体調に合わせて対応している。 			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の希望に合わせて、散髪、髪染め、パーマを行っている。 ・利用者本人に、着用する服を選んで頂きその人らしさが表れるよう支援している。 ・化粧やおしゃれができる支援を行っている。 			
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・一緒に調理や盛り付けを行い、食べたいものの要望や誕生日に希望のメニューを聞いて取り入れている ・季節や記念日に合わせた料理やケーキを提供し楽しみにしている。 ・毎食、調理から配膳、下膳、食器洗いまで利用者と一緒にしている。 ・好みの弁当やバイキング等で楽しんで頂いている。 	毎食職員と一緒に調理や盛り付け、配膳、下膳、食器洗いまで行われています。食事も職員と利用者が一緒に食事をされ会話を楽しまれています。誕生日のリクエストメニューとして食べたい物の要望を聞かれメニューに取り入れられています。誕生日ケーキの飾り付けも行われます。家庭農園でナス、ピーマン等を作り、収穫時には食卓にのぼります。「新型コロナウイルス」対策の為、外食も出来難いですが、ホームでバイキング、お寿司パーティや色々な種類の弁当を買われ利用者は選んで食べて頂く等工夫されています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・個々に合わせた食事、水分量を提供し記録している。 ・好みの飲み物、食べ物の把握をし提供している。 ・咀嚼の難しい方には、刻み食やおかゆ等個々に合った食事形態で提供している ・食事量や栄養バランス等看護師と検討し、必要に応じて法人内栄養士に相談し助言をして頂いている ・体重減少のある方は、医療機関等に相談し食事形態の見直しや捕食の検討を行っている 		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・毎食後、個々に合ったケア用品で口腔ケアを行い清潔保持に努め、必要に応じて介助を行っている。 ・必要に応じ訪問歯科を受け、歯科医師に指導を受けている。 		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄チェック表を活用し、適切な下着、おむつ、パット等を検討し使用している ・排泄記録簿に記入し、排泄パターンやサインを把握しトイレに案内している ・ユニット会議時、状態変化時には支援の振り返り、見直しを行っている 	排泄チェック表を活用しながら、適切な下着、おむつ、リハビリパンツ、パット等の検討を行なう事で、排泄の失敗等を少なくし清潔保持の支援が行われています。排泄チェック表を活用し、パターンやサインを把握され、定期的なトイレ誘導が行われています。状態変化がある時には、ユニット会議で排泄支援のあり方について話し合わせ最善の支援となるよう検討されています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の活動や水分、食事の調整での自然排便が出るようにしている。(必要に応じて下剤で調整している) ・腹部症状の観察を行いながら散歩や体操を取り入れ、自然排便が増えるようにしている。 ・朝食時に便通に良いヨーグルト、牛乳、寒天ゼリー、手作り味噌を提供し便秘予防を行っている。 		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの心情、体調を確認し、時間や回数、入浴方法等希望に合わせて対応している。 ・マンツーマンの対応で好みの湯温に合わせ、ゆったりと入浴して頂いてる。 ・可能な限り同性介助の対応を行っている。 	一人ひとりの気分や体調を確認した上で、週2～3回午後入浴の支援を行われています。同性介助も対応され、マンツーマン対応でゆったりと入浴して頂かれます。一番風呂を希望される方には極力希望を叶えておられます。リフト対応のできる浴槽も用意されており、重度化しても入浴して頂けます。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・日中は散歩や運動を行い活動量を増やし、夜間ゆっくりや眠れるようにしている。 ・個々の状態に合わせた臥床時間で対応している。 ・部屋の明るさや室温、湿度を適切に保ち、安眠できるようにしている。 		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<ul style="list-style-type: none"> 薬の効果が得られているか、投与が適切に行われているかを確認し、必要時主治医へ報告相談している。 与薬手順に沿って服薬できている。 「薬ファイル」作成し、薬の内容、薬の効用、副作用等わかるようにしている。 薬の変更があれば、みるみるファイルで周知し、変更後の状況はケース記録に残し、主治医に報告している。 		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの生活歴や楽しみ、習慣、趣味に沿った役割を持って頂いている。 利用者の興味、楽しみを引き出し、生きがいに繋げている 将棋、パズル、調理、縫物、編み物、音楽、作品作り等個々に楽しませている。 散歩やドライブ等気分転換ができる支援を行っている。 		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> 感染対策の為頻度は少ないが、ドライブ、玄関先や中庭での日光浴、近隣の散歩などの機会を作っている。 墓参りの希望があり実施した。 	<p>利用者の要望、天候に合わせ、ドライブ、外気浴、近隣の散歩等の機会を作り支援されています。季節に応じて花見や紅葉狩り、花回廊の季節の花見などの外出。「新型コロナウイルス」対策を行いながら、ドライブ、玄関先や中庭での外気浴、ホーム近隣の散歩等が行なわれ、墓参りの希望の方には墓参りも実施されました。</p>	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> 数名自己管理され、パンの購入時使用されている 		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ご本人の希望に応じて、ご家族や知人との電話や手紙のやりとりの支援をしている。 		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> 季節感のある飾りやカレンダーを作成し、生活感や季節感を感じ居心地よく過ごせるように努めている。 トイレ、浴室、台所、居室、食堂 毎日掃除を行い不快感がないようにしている。 状況に合わせて明るさや室温、湿度を適切に保ち、心地よく過ごせるよう配慮している。 中庭で植物や野菜を育て季節感を感じている。 	<p>季節感のある飾り付けやカレンダーの作成をされ居心地よく過ごせるような工夫をされています。玄関やフロアテーブルには季節の花を飾られています。食堂、居室、台所、浴室、トイレは毎日掃除をされ不快感無く心地よく過ごす事ができます。「新型コロナウイルス」の感染対策を徹底され適切、安心して過ごせるよう配慮されています。</p>	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・仲の良い利用者やゆっくり過ごせるよう、ソファ、テーブルを設置している ・利用者間のトラブルにならないように、テーブル席の配慮をしている。 ・希望があれば、テラスのベンチや玄関のベンチにも案内している ・他者の干渉が気になる方に、パーテーションを設置し個別の空間を作っている。 		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・居室に、ご本人の馴染みのある家具や椅子テーブル、テレビ、仏壇等が置かれている ・家族の写真、以前作った作品を飾っている。 ・ベッド周辺を工夫し、手の届く位置に物を置き過ぎやずく工夫している。 	ベッド、タンスはホームで用意されています。馴染みの家具や椅子、テーブル、写真、仏壇等持ち込まれ過ごされています。利用者の身体状況に合わせ、PT、職員等で話し合い、ベッドの配置を変える等、安全、快適に過ごして頂けるように工夫されています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<ul style="list-style-type: none"> ・廊下、トイレ、浴室などわかりやすい表示や手すりを設置して、安全に自立した生活が送れるようにしている。 ・3カ月に1度リハビリ評価を受けながら、必要に応じて環境整備をしている(タッチアップの設置) ・居室入口には表札と暖簾があり、本人の作品を飾り居室がわかり易いようにしている。 		